

令和2年第一回日本臨床工学技士連盟理事会議事録

日時：令和2年2月8日（土）14：00～18：00

場所：福岡県小倉北区魚町 第一小倉商工会館 3階会議室B

出席者：肥田泰幸 小林剛志 田村守啓 石田幸広 高山享 倉重諭史 熊谷誠

浦波智 関川智重 広瀬猛 山下芳久 清正夫 奥田晃久 阿部靖弘

三井友成 小峠博揮 有田誠一郎 大塚勝二 山田佳央

欠席者：門田明正 安部貴之 大久保佑樹 長尾尋智 五条敏和 高橋満彦 山崎康祥

オブザーバー：大塚紹

1. 開会（関川理事）

これより令和2年第一回日本臨床工学技士連盟理事会を開催する。

理事長挨拶（肥田理事長）

2013年に創設して去年で5年目の節目を迎え、皆様のご協力により形となって来た。役員改選を行い次の5年に向かい皆様のご協力を得ながらステップアップを目指したい。

日野辰彦挨拶（自見はな子秘書）

大変お世話になっております。明日予定していた自見はな子賀詞会でしたが昨年九月より厚生労働政務官を拝命し、現在は新型コロナウイルスについて厚労省職員とともに朝早くから遅くまで対応に追われている現状の中で新年の賀詞会の開催はふさわしくないのではという決断のもと中止にさせて頂きました。この会のために小倉にお集まり頂き申し訳ないのですが何卒ご理解を願います。申し訳ございませんでした。先日1月にも技士連盟総会第2階目開催を行わせて頂きまして微力ですが臨床工学技士の皆様と良い方向に向かいますように自見共々頑張っていきますので今後ともよろしく願いいたします。

2. 新役員について

1) 新役員紹介

- ・ 日本臨床工学技士連盟第二期役員立候補役員決定

- ・ 新役員挨拶

倉重諭史 廣瀬猛 奥田晃久 清正夫 石田幸広 阿部靖弘

有田誠一郎 大塚勝二

2) 三役選出

理事長 肥田泰幸
副理事長 小林剛志 門田明正
事務局 石田幸広
監事 高山享

事務局より選出し承認される

自見はな子私設秘書 田村守啓 原田隆史

退任者 熊谷誠 山下芳久 関川智重

3) 各部会・補佐選出

- ・ 政治パーティーの動員に苦慮しており関東近辺での参加を募る。(肥田理事長)
- ・ 渉外活動から、年間スケジュールを参考に例年同じ時期にパーティーが開催される可能性が高いので、国会開催時期なども考慮し人員確保に努める。議連の先生などは優先的に埋めていきたい。参加者の日当についても考慮いただけるように提案する。(小林副理事長)
- ・ 人員確保に向け苦勞するところがありますが、経済的補助があると参加者を集めやすい。若い人が参加すると雰囲気圧倒されるところはありますが意識が変わる印象がある。(奥田理事)
- ・ 日臨工に連盟事務局の住所を置いているので、政治パーティーの案内は日臨工に届き日臨工の協力のもと PDF にしてネットにあげてもらい皆様にメールで届けられているが、誰も手を挙げてもらえていない状況に困っている。総務部より人員の割り振りや担当者の選出を関東の方と協力しながらお願いしたい。日臨工の協力体制も資金や人員の面から少しずつ得られている (肥田理事長)

3. 連盟規約の確認

1) 規約変更について

- ・ 理事へは事前に規約の報告があり、誤字等の報告は修正した。また食事代日当の金額について指摘があり、食事代の請求が今まで無かったことをふまえ合算で ¥5,000 と提案する (田村事務局長)
- ・ 食事代については午前午後の活動時間により必要性が変わるので、条件を付けてみてはどうか (小林副理事長)

- ・ ¥5,000 の根拠は他団体に見習っている（肥田理事長）
- ・ 日当は午前と午後で分ける考え方もあるのでは（大塚理事）
- ・ 今の会員数で今年度と同様のパーティー参加を試算すると今期以上のマイナスになる。会員数も増えてはきているが参加するパーティーも年々増えてきており、その分として国会の先生ともつながりや関係も深くはなっている（田村事務局長）
- ・ 宿泊は規約の方に上限¥10,000 と記載しているが、場所によっては不足することも考えられる。他団体で¥15,000 にしているところもあるし、少ない分にはいいが、会が大きくなってからまた検討するではいかが（小林副理事長）
- ・ 交通宿泊日はパックでその金額を請求しており、今の意見を色々伺うと日当は食費込みで¥5,000 程度が請求するにもわかりやすく妥当と考えます（肥田理事長）
- ・ 理事長の活動について重点を置くことと、パーティーへの参加に声をかけやすいのがいい。パーティー参加者は交通費と日当で1～2名程度だが、選挙の動員は20～30名と別で、木村先生の選挙時は交通費日当なしのボランティアで参加いただいた（小林副理事長）
- ・ 参加する目的や一般と理事によって分けて考えてみては（三井理事・高山監事）
- ・ この件についての詳細な金額については後日に話し合うこととし、できるだけ支出することで拍手にて承認する。またこの話し合いは事務局と関東圏理事に一任する（肥田理事長）

4. 会計報告並びに監査報告

1) 令和元年度会計決算報告及び会計監査報告（平成31年から令和元年）

収支決算について（田村事務局長）

収入の部： 全会員 1770 名のうち、カード会員（1449 名）、SmartPit 会員（321 名）収入等で ¥4,497,391 となった。

支出の部： 管理費(会議諸費・旅費交通費・通信費・事業費・参加費・備品消耗品費)、臨時支出で ¥4,930,146 となった。

次期収支繰り越し差額：当期収支差額と前期繰越で¥1,916,287 となった。

- ・ 2019 年は約 50 万のマイナス収支となってしまった。予算案上、会費収入を 1900 名分と見込んでいたが大きく下回り、また経費として選挙時の応援やパーティー参加が増えたことから支出が収支を上回ってしまった。

2) 監査報告（高山監事）

平成 30 年度の決算について前期報告に誤りがなかったことが確認できた報告があり、理事会にて承認された。

3) 令和元年度予算及び活動方針（案）

予算案（田村事務局長）

収入の部：会費収入 1,800 名の見込みで ¥5,400,000 を収入目標とする。

支出の部：管理費（会議諸費・旅費交通費・通信費・事業費・参加費・備品消耗品費）、臨時支出として ¥5,400,000 とする。

- ・ 前年度がマイナス収支だったので可能な限り入会の増減について増やしていくよう務める（田村事務局長）
- ・ 予算案の交通費について、役員だけではなく一般会員についても予算案へ計上したほうが良いと思われる（高山監事）
- ・ 会費収入と同時進行で、寄付金収入など他の収入の増加について対策はあるのか（大塚理事）
- ・ 会費収入を得るため、日臨工開催時に政治の勉強会を開き、日臨工の会員へ学会参加費からさらなる出費させ参加を募るのは困難である事と、会場費の準備等も含めると収入は見込みにくく実施に至ってない。メーカー企業からの寄付金について、昨今の事情や学会への協賛もいただいている上でさらなる協力は求めにくく、今後さらに連盟が大きくなってからではないと難しい（小林副理事長）
- ・ 実際にあった寄付は 10 件もありませんでした。こちらからお願いしたわけではなく、個人的、突発的に個人名で一万円だったり五千円だったり必要だと思ってと言う理由でした（田村事務局長）
- ・ 寄付金集めについては理事全員で考えていく（高山監事）
- ・ クレジットカードを JCB や日専連などと協賛して作成し、そのカードで会費も払ってもらい、そのカードを使ってもらうことで 0.03% だったと思うが運営費として見込めるシステムを考えてみてはどうか（大塚理事）
- ・ 日臨工でも三井理事が調べてくれたことがあってリハの会員カードは中央や都道府県とも楽天カードを使っていて、使用に関して新人でも入会の仕切りが低いらしいが収益にまで繋がっているかは不明です（高山監事）
- ・ 最初は 8,000 円が無料についてきて、保険も 2 段階にあって安い方に入るとそのカードが勝手についてくる（三井理事）
- ・ 個人事業主が経費で落とせるなら寄付にしたほうが良いと言う様な寄付金控除を受ける団体ではあるので、どこに対して寄付してくださいと言うアプローチはしたい。（肥田理事長）

- ・ 個人での寄付として税金払うよりはと寄付の方がいいと五人くらいから寄付をお願いした。(三井理事)
- ・ 設立当初からの悩みで、先ほどの勉強会を政治資金パーティーにして、注目度の高い政治家を読んで収益をこちらで頂けないかと言う様な話はないので、その心配りも難しい(肥田理事長)
- ・ 収益事業を考えるのが総務部であればもう少し総務部の担当増員を考えてもいいのでは(高山監事)
- ・ 総務と言うより3名くらい幹事長を付け、その中から筆頭幹事長を置くことを思案していた(肥田理事長)
- ・ 勉強会に共催をつけていくらかもらうというのはどうか(大塚理事)
- ・ 収入の計算について、昨年度実績から手数料を引くと一人分会費が¥2,522で、会員1800人とすると454万円にしかならないので、収入見込として540万円は合っていない(三井理事)
- ・ 年末の会費未払い者へ送付しているお知らせの手数料などもかかるので、日臨工はやっていないが連盟でクレジットカードを作るとかして、バッチだけではなくカード作成し、それにも費用はかかるので少ない会員のうちに用意し、カードを持っていれば何かしらの特典があるといいと思われる(小林副理事長)
- ・ 究極は日臨工にリンクして入会手続きをしたら連盟にも飛ぶ様にするしかない(三井理事)
- ・ 歯科技工士会は収入とする会社を別に立てて、その収入会社で回避を両方から受け取って公益団体と連盟に振り分けている(肥田理事長)
- ・ 歯科技工士会では、会費の徴収を外部業者へ委託して協会と連盟の会費を同時徴収している。明確に公益団体と政治団体を分ける事もできる。(高山監事・肥田理事長)
- ・ 収入(寄付)については理事よりアイデアを出し合ってから集約した後に報告する様にする(田村事務局長)
- ・ 収入(寄付)については新しい理事も増えたので法的なルールや規制など細かいところを整備してレクチャーしてもらえる様にいただけると助かる(小峠理事)
- ・ 肥田理事長の活動費会計について、現在活動した料金を毎月清算してから支払う様にしていたが、連盟名義のクレジットカードで決済できれば清算の手間が省け、カードの使用履歴で確認できる様になるので、手数料等の維持費も調べ承認いただけるか報告したい(田村事務局長)
- ・ 理事会にて承認された

5. 6) 青年部報告 (山田理事)

- ・ 第31回日本臨床工学技士会熊本大会にて連盟の肩書で「アイディールCE賞」を企画する。
- ・ 「アイディールCE賞」とは、ベストジーニスト賞の様に芸能人で臨床工学技士として似合う方を選出して表彰する。関西テレビへ相談し可能かどうか進めていて、受賞した芸能人でドラマを作成できれば臨床工学技士の周知活動に貢献できると思い、31回大会でアイディールCE賞を連盟の肩書で開催できる様に理事会で了承いただき、野田毅先生には特別名誉何某の肩書で、肥田理事長には実行委員長をお願いしたい。(山田理事)
- ・ 費用をかけて芸能人を呼んだらその賞をもらってくれるのか (三井理事)
- ・ 賞をあげるに際しテレビ出演がある事で芸能人に費用はかからず、医療ドラマ作成も手がけた関西テレビへ依頼している (山田理事)
- ・ 理事会にて承認された

5. 各部所より 2019年の活動報告並びに 2020年の活動予定・活動目標の提示

1) 渉外活動報告 (小林副理事長)

政治パーティー等の出席は103件、会費支払い48件、選挙協力は公にできるのをカウントして、自見さん2回、武見敬三先生は2回、羽生田宗先生も2回、木村義雄先生は選挙活動中の2週間に渡り電話活動等をしてきました。結果は残念でしたが、今後の活動につなげる事が出来た。

今後の計画としては、東京での集会が国会会期中に多く、常会1月20日から6月17日で臨時は夏から12月となるが、今年はオリンピックがあるのでその後になると思われる。参加はできる限り同じ顔で参加し、国会の先生より秘書さんと連絡を取っておくとしっかり顔を覚えてもらえるのでしっかりつながっておく。

また、その先生の地元の協議会の人と行くのが効率的で、県議会や市議会の人々が応援をして票につながるの、そこのつながりも見とおいた方が良いと思いました。よって代議員の秘書と、地方に帰った時につながりのある市議会議員等と会いに行けると挨拶した時につながりやすくなる。ただ、声が大きいかと我々のために有用に働いているかは別になるので、我々のために動いてくれるかを見極め

るのが大事である

- ・ 役について幹事とか幹事長代行とかそういう人は外せないが、議員連盟については自見先生や野田先生が相談されていると思うし、橋本岳先生はタスクシフトの会議で真ん中に座っているからつながっていった方がいい。(肥田理事長)

2) 総務部報告 (関川理事)

- ・ 愛知県大会での計画について、長尾理事より連盟セッションを設けたいとの打診があり、土曜日の16か17時くらいから田村憲久元厚生労働大臣を呼べる事が決まっており、座長は肥田理事長で、費用は大会の方で持つことになっています。窓口は三重県の柴田さん、担当は長尾さんになっているので、総務部ではこの開催にあたり準備の取りまとめを手抜かりの無いようにお願いします。
愛知県大会で第2回連盟通常総会を金曜日の午後から代表者会議の前に行うので、資料作成や場所の確保等の準備も総務部で一任する。(肥田理事長・田村事務局長)

3) 組織部報告 (小峠理事)

会員数の現状について、会費を納めている人数で1899名という現状であり、引き続き会員確保にご協力願います。各都道府県技士会HPから連盟HPへの誘導についての重要なツールとなりますがバナーリンクの状況について、ここ1年で新しく掲載されたのは5件、トップページにあるのは23件、リンクしているのが9件、全く無いのが16件あるので無い道府県に関してはここにいる理事から技士会長を通して作って頂きたい。日臨工も未だに掲載はない。

各都道府県や地域の技士会開催時のブースの開設について、拾い上げることはできませんでしたがお願いいたします。

技士会に入っていない人達に声かけをして行く妙案があればですが、技士会ではなくても地域で行う勉強会等でのコミュニティーなどに参加しても、なかなか声を上げる事が出来ていない

- ・ 未加入者は無保険で働いているという事で、災害があった時に各施設の責任者が集まって話し合った際に出してみた事がありました。(大塚理事)
- ・ 話し合いに出てくる責任者は理解があつてからこそ来てくるのであって、全く理解してくれない興味を持ってくれない方は、姿も見えなく話をする機会もない。そしてその下で働いている技士もその通りである。どこを掘り起こすか大変な力がある。見えない人に伝えるのは難しい(有田理事)

- ・ 日臨工の生涯教育を肥田理事長もしていますが、認定においては技士長の意向とは関係なしに受けた際に、職能教育としての必要性を話す機会を作り介入していくことを思案している（三井理事）
- ・ 日臨工のチラシに本間理事長とシープリンの会話形式があったが、長野で作成したものを作成者に依頼して全国版を作っていた。即効性はないと思われるが長期的効果が期待できる（小林副理事長）
- ・ 今後は e-ラーニングが中心のコンテンツになって来くる。職能教育に関しては各都道府県技士会へ協力を求め、新人教育の時に職能団体の教育もしないと技士会に入らない（三井理事）
- ・ 各協議会や県の方で後任があると予算をとってくれますというところまでは話が進んでいる（小林副理事長）
- ・ 愛知県大会の代表者会議の時に組織強化に向け、各技士会に資料を配りますとプレゼンをするだろう（高山監事）
- ・ 東京では自分の事を問題にしないので、会員になっていない人も多く、去年くらいから勉強会を始め個別に声をかけて勧誘したが、アンケートからは逆に勧誘に対して指摘され難しさを感じた（奥田理事）
- ・ 東京都は学生を上手く取り込んで、長期的に若い方が理事になったり、SNS を使って若い人達のコミュニティーを作って効果をあげた（小林副理事長）
- ・ 福岡でも各理事が卒業前に学校へ出向き学祭に話をして来ていて、学生会員なども作っており社会に出て入会するときは入会金を免除したり、年会費も安価にしている特典もあるので多く入会している。また、社会に出た後も学生会員から正会員になるので上司や先輩が入っていなくても増やしていける形を見込んでいる。実際にブースを設置し話を聞きにくるのは学生が多く、危機感を持っているのはピュアな学生の方が多く、映画やユーチューブ作成などの色々な宣伝のアイデアも出してくれる。（有田理事）
- ・ ネットや SNS はだんだんと衰退している。サロンなどを作って人と人を集めて合わせる仕組みを作った方がいいのかなと感じる（阿部理事）
- ・ 以前に勉強会の広報をどうして行くかと話し合った時にユーチューブが上がったが 1 日に 65 年分の動画がアップされるところから探すのは難しいという事と、SNS も全国を見ると東京だけが突出しているが他の地域ではあまり使われておらず、利用者が 2 割くらいがヘビーユーザーとして 8 割くらい利用しているので全体としてはあまり見られていない。ロコミとか直接話しをするかというところで伝えて行くのがいいと話し合った（奥田理事）

- ・ 都道府県会員推移の表より総会日程と派遣者記入欄がありますが、各都道府県で総会を執り行うと思うので、誰か行ってもらってそこで話をするように取りまとめを組織部と事務局で連携してお願いします（肥田理事長）
- ・ 話をするにあたり、共通するコンテンツを作って整合性を合わせる方法を取らないと、話す人が変わって混乱する（小林副理事長）

4) 選挙対策報告

- ・ 直近に総選挙があるかもしれない

5) 広報部報告（三井理事）

連盟新聞を2回発行予定で、今年より鹿児島県 米盛病院 中原美左誉さんが紙面を担当する。メルマガも11回投稿し2020年も同様に北海道の西方さんが担当する。コラムについては毎月担当者を理事監事の中から変更して願います。

7) 学習部報告（山崎理事）

[紙面報告のみ] 理事補佐2名を加え新体制で望む。学習部としては活動できなかったのが各理事と連携のうえ企画して行く。

8) 事務局報告（田村事務局長）

- i. 会員数の増え方について、退会者も多い年もあったが年度によりばらつきが見られた。今後も会員の増員について協力を賜りたい。
- ii. 全国の分布については資料のグラフより西高東低が続いているが、北海道で一気に増員があった例のようにまだまだ伸び代があるのではないかとと思われるので新規入会への開拓をお願いします。
- iii. 先月1月22日に第2回臨床工学技士の資質向上を考える議員連盟総会が開催され議事録を資料として配布しているで、誰がどのような意見や質問があったかを確認していただければと思います。
- iv. 都道府県担当者一覧変更について調査したものを報告しますので活用をお願いします
- v. レンタルオフィスの一次契約について、日臨工で連盟事務局の住所を置かせていただいていたが、政治に関わるところで受け取りをしなくなってしまい、レンタルオフィスを契約し郵送物を有料で事務局長へ転送している状況であるが、今後は以前と同様に日臨工へ事務局住所が置かれるように好転する事を願います。

- vi. 今後の事務局活動の予定として、石田新事務局長へ引継ぎを行いながら、会員数のさらなる増加や年2回以上の理事会位開催、5月の愛知大会での総会開催、各大会での連盟ブースの設置に向け準備をして行く
- vii. 理事会冒頭でもありましたが、自見はな子議員秘書として4月1日より勤務する

6. 自見はな子先生を囲んでの懇親会について

自見先生の賀詞会の前の懇談会を予定していたところでお話しできればと用意していた（肥田理事長）

7. 活動報告・抱負

- ・ 臨床工学技士の地位向上を目標に連盟の活動を担当ブロックで周知して会員増加を望んでいきたい（浦波理事）
- ・ 入って1年目ですが、独占業務ではないところや他業種からどこまでできるのと比べられることがあり地位向上を目指したいと考えた。AIやICTなどの医療分野への業務に入り込めればと考えています。SNSの情報がいい方向ではなく悪い方向に行った時に若い人たちが希望を失わないようにできればと考えています。（阿部理事）
- ・ 大阪府担当としてやってきたが会員数は伸び悩み力不足を感じていたが、実際に議員と話す機会があり必要性を理解してもらえ立候補に至った。自身は臨床工学技士でありながら訪問看護ステーションの外部委員に呼ばれ、在宅医療の災害対策取り組む活動をしていると、在宅の看護師は臨床工学技士を知らないが理解を示してくれる方もいるので、今後は在宅の分野にも臨床工学技士がいて当たり前となるように活動をしていきたい（石田新事務局長）
- ・ 去年6月に秋田から仙台へ転勤を申し渡され、ようやく落ち着いた時期に差し掛かってきました。連盟の活動も大事とは考えながらも限界を感じていた。次年度からは北海道の倉重さんが大きく貢献してくれると思い推薦しました。これまでありがとうございました（熊谷理事）
- ・ 発足時から肥田理事長に声をかけていただき活動してきました。しかし思うような活動ができていなくて申し訳ないと思いながら、今回日臨工の理事に当選させてもらい今度は日臨工から連盟の活動に貢献したいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします（山下理事）
- ・ 第1期より肥田理事長、高山監事に声をかけてもらい活動してきました。土地的にパーティー要員として肥田理事長の代理として数多くのパーティーに参加さ

せていただき、たくさんのカルチャーショックを受けてきました。連盟活動としては2015年には親子で体験ツアーと2016年には大人の社会科見学ツアーを開催しました。普段見られないところが見られるということでこの国会見学ツアーを田村さんも秘書になられるので継続していただければと考えます。次期理事に都臨工の事務局長もしている奥田さんを推薦し都臨工と連盟の連携を強化していただきたいと期待しております。昨年の4月より日臨工よりタスクシェアの検討委員を命じられて肥田理事長とともに活動しておりますし、業務上の都合もありパーティーにも参加できない状況でしたが、今後とも協力できればと考えておりましたのでよろしくお願いいたします（関川理事）

- ・ 退任者へ記念品贈呈と記念撮影

8. 閉会